

地域情報プラットフォーム
業務標準化ワーキンググループ
— 活動内容と成果のご紹介 —

H19年 3月 20日

APPLIC
全国地域情報化推進協会

Contents

1. 自治体における現状の課題と地域情報プラットフォーム
2. 地域情報プラットフォームによる課題解決の方向性
3. 地域情報プラットフォームの業務標準化の範囲
4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0
5. 同標準仕様V2.0策定ポイント（予定）
6. 地域情報プラットフォーム標準仕様（業務モデル標準）とは
7. 地域情報プラットフォーム標準仕様策定による効果（利活用）

1. 自治体における現状の課題と地域情報プラットフォーム

自治体における現状の課題

- (1)多様化する住民ニーズへの対応
 - ・住民の利便性向上(ワンストップサービスの実現)
 - ・教育、防災、医療サービスの充実
- (2)ITコストの低減
 - ・IT経費の削減(オープン化、マルチベンダ化)
 - ・庁内事務の効率化
- (3)地域のIT産業の活性化を通じた産業振興

地域情報PFによる課題解決

これまでの組織間の縦割りのシステム構築

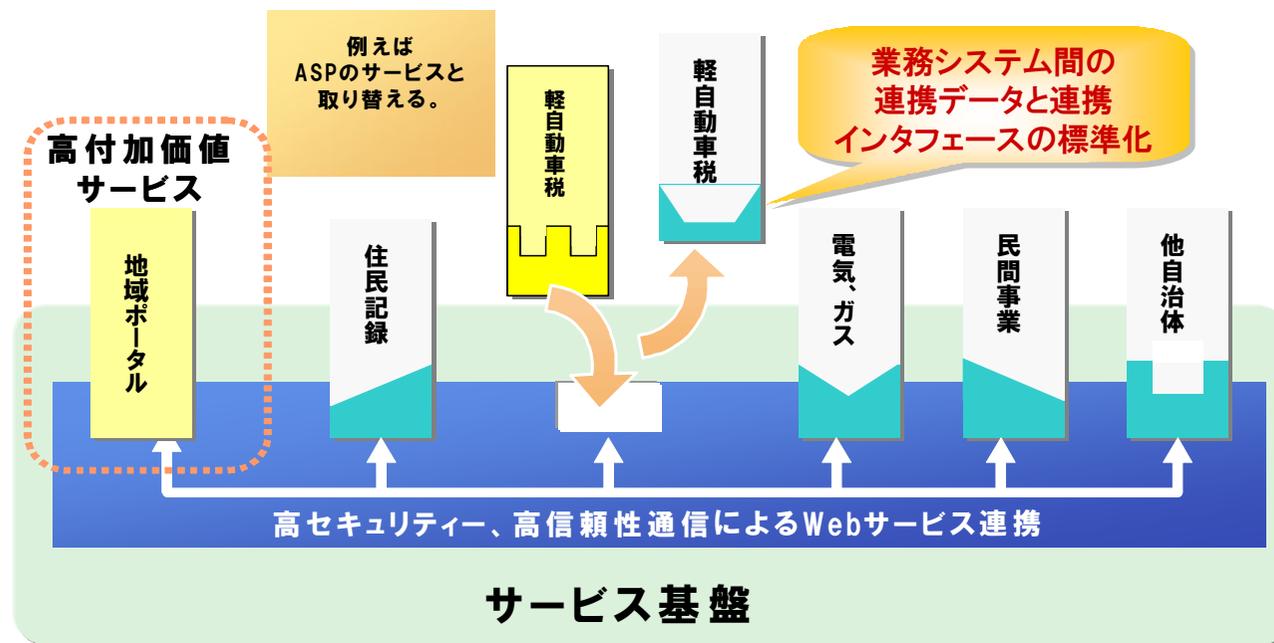
業務システム間の容易な連携や情報の共有化を実現するための標準的な仕組みが有効

2. 地域情報プラットフォームによる課題解決の方向性

① 業務システム間連携の標準化

- ・業務機能(業務サービス)の範囲の明確化
- ・業務システム間の**連携データ**の標準化
- ・業務システム間の**連携インターフェース**の標準化

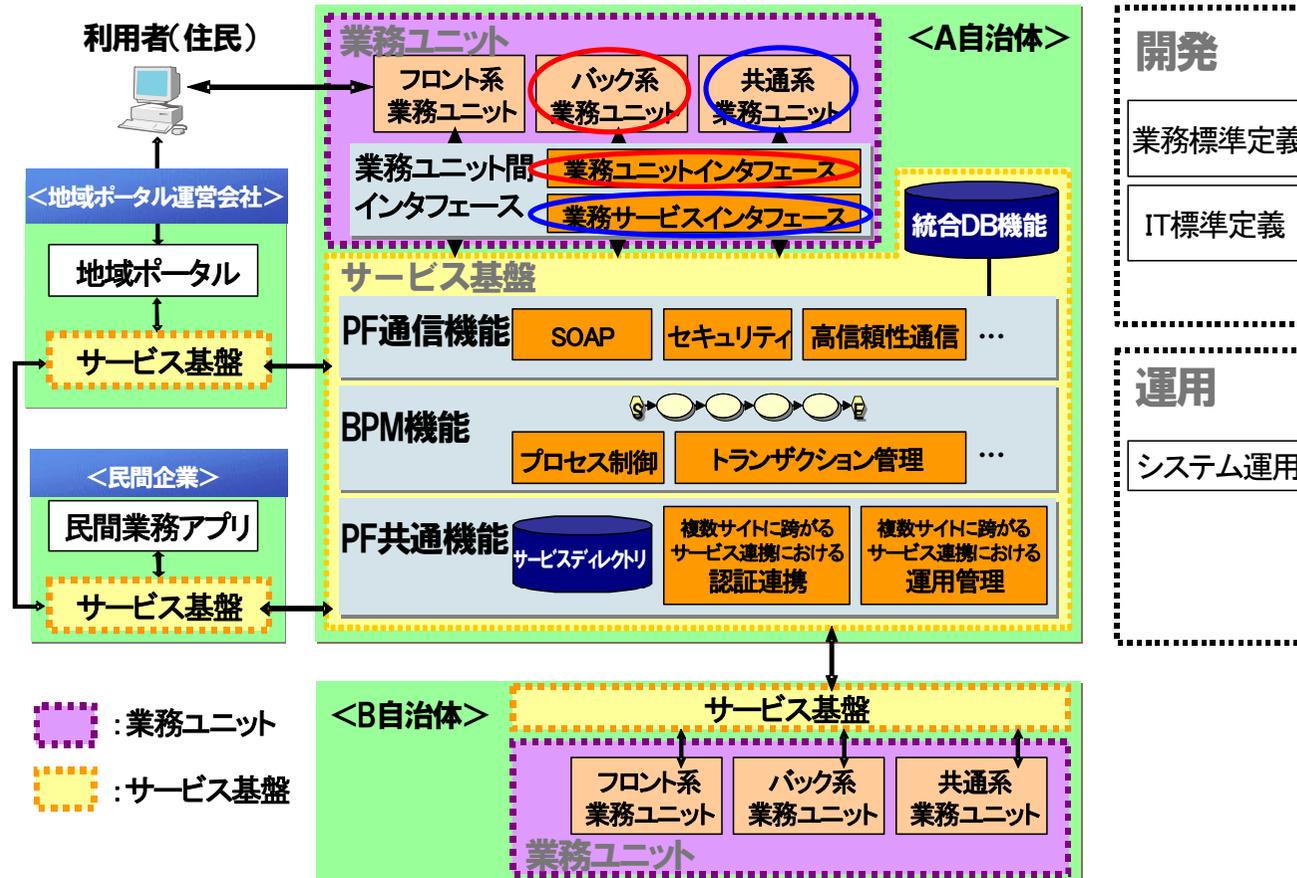
② 業務システム間連携やワンストップサービス連携を実現する、Webサービス技術を活用した**共通的なサービス基盤**の提供



地域情報プラットフォームのイメージ

3. 地域情報プラットフォームの業務標準化の範囲

(1) 業務ユニット、および業務ユニット間インタフェースの位置付け



:業務ユニット
:サービス基盤

自治体業務ユニット	
フロント系業務ユニット	業務の中で、電子的な窓口である業務(自治体ポータル・電子申請、電子調達等)
バック系業務ユニット	業務の中で、基幹業務・内部事務業務に関する業務(住民基本台帳、市町村民税、介護保険等)
共通系業務ユニット	自治体業務を実現させるため、複数の業務から共通的に利用される業務(住登外管理等)

:標準仕様V1.0(H18年度末)

:標準仕様V2.0~(H19年度末~予定)

3. 地域情報プラットフォームの業務標準化の範囲

(2) 標準化対象の業務範囲

- ・ワンストップサービス連携の実現や業務ユニットの差し替えが容易
- ・住民の利便性向上や職員の業務効率化など、改善効果が大きいもの
- ・標準化の範囲は、業務ユニット間の連携データ項目と連携インタフェース
- ・自治体EA事業の分析手法や成果物等を利用

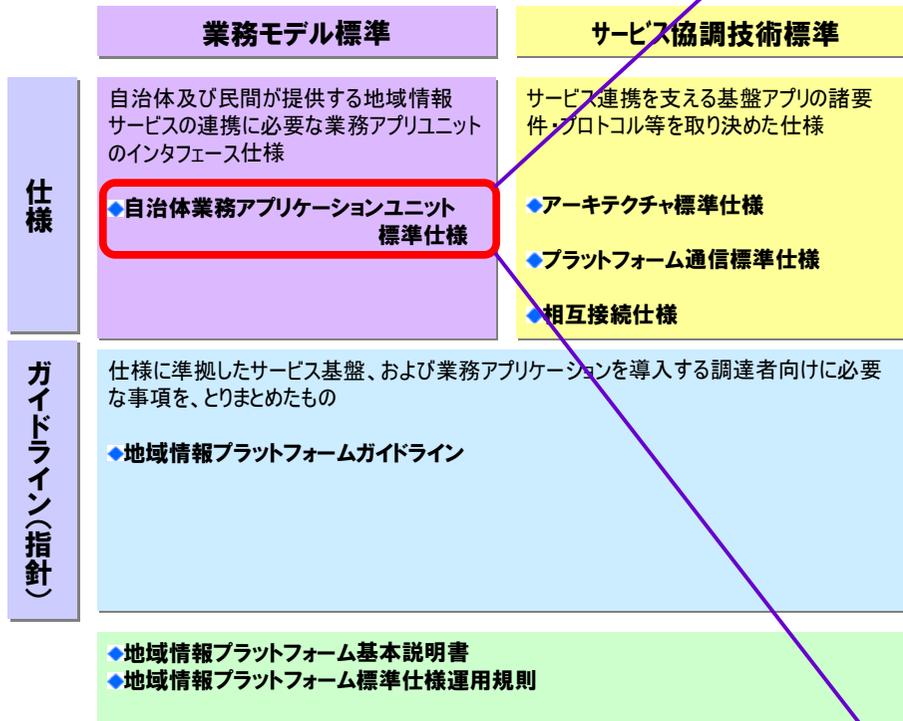
業務ユニット 番号	対象業務	業務ユニット 番号	対象業務
1	住民基本台帳	16	生活保護
2	印鑑登録	17	乳幼児医療(*1)
3	外国人登録	18	母子医療(*1)
4	選挙人名簿管理	19	健康管理(*1)
5	固定資産税	20	就学
6	個人住民税	21	戸籍
7	法人住民税		
8	軽自動車税	30	住登外管理
9	収滞納管理		
10	国民健康保険		
11	国民年金	50	財務会計
12	障害者福祉	51	庶務事務
13	高齢者福祉(*1)	52	人事給与
14	介護保険	53	文書管理
15	児童手当		

(*1)本標準仕様V1.0には含まない。同V2.0にて策定予定。

4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

(1) 全体構成

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0



地域情報プラットフォーム標準仕様の体系

- ①標準仕様の読み方と準拠事項
- ②業務ユニット概要説明
- ③業務ユニット番号一覧
- ④機能一覧
- ⑤機能構成図(DMM)
- ⑥機能情報関連図(DFD)
- ⑦インタフェース仕様
- ⑧データ一覧
- ⑨インタフェース一覧
- ⑩XMLスキーマ
- ⑪WSDL定義
- ⑫項目セット辞書
- ⑬コード辞書
- ⑭宛名管理サービス定義(例)
- ⑮補足事項

4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

(2) 業務標準仕様策定の流れ

●ステップ1: 各対象業務ユニットの機能(サービス)範囲の明確化

<以下の観点を中心に協議・レビュー>

- ・根拠法令
- ・自治体導入事例
- ・業務パッケージ事例
- ・標準化に適する範囲
- ・本事業の目的



- ・標準仕様②
- ・標準仕様③
- ・標準仕様④

●ステップ2: 各業務ユニット間のデータ連携の分析と明示化

<以下の分析ポイントでレビュー>

- ・各業務ユニット間の情報の流れを明示化
- ・同情報をデータ項目レベルで明細化
(In/Outや桁数も併せて定義)
- ・共通的な辞書の作成



- ・標準仕様⑤
- ・標準仕様⑥
- ・標準仕様⑦
- ・標準仕様⑫
- ・標準仕様⑬

●ステップ3: 各業務ユニットの開発・実装に必要な連携仕様の策定

<以下の分析ポイントでレビュー>

- ・各業務ユニットがデータ連携(SOAP連携)として所管するデータの定義
- ・各業務ユニットがデータ連携するサービス(SOAPインタフェース)の定義



- ・標準仕様⑧
- ・標準仕様⑨
- ・標準仕様⑩
- ・標準仕様⑪

4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

●ステップ1: 各対象業務ユニットの機能(サービス)範囲の明確化

業務ユニット番号	業務ユニット名	概要
1	住民基本台帳	住民の転入・転出・転居・出生・死亡等の異動、照会や証明書の発行・通知書の出力等を行う。
2	印鑑登録	印鑑の登録・廃止・印鑑証明の発行等を行う。
3	外国人登録	外国人登録の増・減処理、登録証の発行、登録証調製依頼等の処理を行う。
4	選挙人名簿管理	選挙人名簿の管理、入場券発行、不在者投票、住民投票の管理等を行う。検審査官、農家・海区・漁業委員会選挙人名簿作成を行う。
5	固定資産税	固定資産税課税台帳(土地・家屋・償却資産)の評価・賦課・証明書発行・統計処理等を行う。
6	個人住民税	個人住民税の課税対象管理・資料の管理・賦課・統計処理等を行う。
7	法人住民税	法人台帳の管理・賦課台帳管理等を行う。
8	軽自動車税	車輦台帳の管理・賦課・証明書発行等の処理を行う。
9	収滞納管理	個人住民税、法人住民税、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険税(料)の収納情報・滞納整理情報の管理、消込・滞納整理・過誤納の処理、統計出力等を行う。
10	国民健康保険	資格の管理、保険証の発行、所得資産の管理・保険税(料)の賦課、レポートのチェック・管理、療養費等の給付、統計処理等を行う。
11	国民年金	国民年金資格の管理・付加・免除・給付の管理を行う。
12	障害者福祉	対象者の資格管理、進達処理、通知書発行、支払管理、統計処理等を行う。
13	高齢者福祉(*1)	対象者の資格管理、通知書・証発行、収納・支払管理、統計処理等を行う。
14	介護保険	介護保険被保険者の資格管理・介護保険料の賦課・介護保険料の収納管理・受給者の台帳管理を行う。
15	児童手当	対象者の資格管理、現況受付、支払管理、統計処理等を行う。(児童福祉の一部)
16	生活保護	生活相談受付、保護申請審査、支給管理、統計処理等を行う。
17	乳幼児医療(*1)	対象者の資格管理、医療証の発行、現金給付、統計処理等を行う。
18	母子医療(*1)	対象者の資格管理、医療証の発行、現金給付、統計処理等を行う。
19	健康管理(*1)	基本健診・成人検診・母子健診・予防接種情報の管理、保健指導、統計報告資料作成、データ分析、委託料・報償金管理を行う。
20	就学	学齢簿の出力、小学校・中学校の就学通知の発行等を行う。
21	戸籍	本籍人の出生・死亡・婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁などの異動、照会、証明書発行、および通知書出力等を行う。また附票管理を行う。
30	住登外管理	住登外者・法人情報の管理を行う。
50	財務会計	予算編成・予算管理・歳入管理・歳出管理・歳計外現金・出納管理・決算管理等の処理を行う。
51	庶務事務	勤怠管理・各種手当申請・その他各種申請・照会／配布・福利厚生管理・未調整管理・正規職員以外管理等の処理を行う。
52	人事給与	申請受付・計算・年末調整・支払・人事・福利厚生・研修等の処理を行う。
53	文書管理	公文書の收受・起案・承認／決裁・施行・保管・検索／照会・ファイル管理・情報公開等の処理を行う。

(*1)本標準仕様V1.0には含まない。同V2.0にて策定予定。

機能一覧		業務名
		住民基本台帳
機能(レベル01)	機能(レベル02)	機能説明
1.1.異動(増加)	1.1.1.転入	住民の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。
	1.1.2.戸籍届出による異動(増加)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳に世帯情報、個人情報を追加する。(出生、国籍取得、帰化)
	1.2.異動(減少)	住民の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。
1.2.異動(減少)	1.2.1.転出	住民の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。
	1.2.2.戸籍届出による異動(減少)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳から世帯情報、個人情報を削除する。(死亡、失踪宣告、国籍喪失)
1.3.異動(変更)	1.3.1.転居	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の住所要件(住所や世帯構成員、続柄)を変更する。
	1.3.2.世帯変更	住民の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報を変更する。(世帯合併、分離、世帯主変更、世帯変更)
	1.3.3.戸籍届出による異動(増減なし)	戸籍の届出に基づき、住民基本台帳上の世帯情報、個人情報の戸籍要件(氏名、本籍、筆頭者、続柄)を変更する。(氏名変更、婚姻、離婚、転籍、戸籍訂正等)
	1.3.4.住民票記載事項の変更	職権により、住民基本台帳の世帯情報、個人情報を変更する。(住居表示、通知により)
	1.3.5.その他変更	外国人登録により、住民基本台帳の個人情報を追加、変更する。
1.4.照会	1.4.1.住民票情報照会	世帯情報、個人情報に登録された情報を表示する。
	1.4.2.住基カード発行状況照会	住民基本台帳カードの発行状況を表示する。
1.5.発行	1.5.1.証明書交付	住民の申請に基づき、証明書(住民票、住民票記載事項証明書等)を出力する。
	1.5.2.通知発行	他市区町村、住民へ各種通知(転入通知、附票記載事項通知、住民票コード通知等)を送付する。
1.6.統計・報告	1.6.1.統計・報告(都道府県、関係機関)	都道府県に対し、各種統計情報(転入・転出者数表等)を送付する。
	1.6.2.統計・報告(統計部門)	他部署(統計部門)に対して、各種統計情報(年齢別統計、人口ピラミッド等)を送付(開示)する。
1.7.閲覧	1.7.1.住民閲覧	住民に対し、世帯情報、個人情報を閲覧する。

②各業務ユニットの機能概要説明

④当該業務の機能一覧

→ 当該業務機能(サービス)の範囲の明確化



4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

●ステップ2: 各業務ユニット間のデータ連携の分析と明示化

項目セット辞書								版	作成日
									2007/03/20
項番	項目セット名	項目名	CD	データ型	桁数	出現回数	サンプル値	項目の説明	
1	日付情報	年		X	4	1	2007	西暦年	
		月		X	2	1	11		
		日		X	2	1	23		
2	氏名情報	氏名		N	100	1	総務 太郎	姓と名の間に全角の空白を一文字入れる。	
		フリガナ		N	100	1	ソウム タロウ	姓と名の間に全角の空白を一文字入れる。	
3	住所情報	町字コード	○	X	11	1		LASDEC全国町字コード	
		都道府県		N	40	1			
		市区町村		N	40	1			
		行政区		N	40	1			
		町名等		N	40	1			
		方書		N	150	1			
4	続柄情報	郵便番号		X	10	1			
		続柄1	○	X	2	1		※続柄	
		続柄2	○	X	2	1		※続柄	
		続柄3	○	X	2	1		※続柄	
		続柄4	○	X	2	1		※続柄	
		金融機関コード	○	X	4	1	1234	(全館協)統一金融機関コード	
5	金融機関情報	支店コード	○	X	3	1	123	(全館協)統一店番号	
		口座種別	○	X	1	1	1	(全館協)預金種目	
		口座番号	X	8	1	01234567	右詰の残りスペース		
		口座名義人名	N	40	1		左詰の残りスペース		
		口座名義人名カナ	N	40	1		左詰の残りスペース		
		小字	X	5	1				
6	所在地情報	町番	X	25	1				
		年	X	4	1	2007	西暦年		
		月	X	2	1	11			
7	年月情報	年	X	4	1	2007	西暦年		
8	電話番号情報	電話番号	X	20	1				
9	歳入科目情報	合計	X	2	1	01		※科目情報の項目はサンプル。導入団体に合わせ調整が必要。	
		予算区分	○	X	1	1	0		
		款	X	2	1	01			
		項	X	2	1	01			
		目	X	2	1	01			
		節	X	2	1	01			
		細節	X	2	1	01			
		細々節	X	3	1	001			
		空白	X	14	1				
		合計	X	2	1	01		※科目情報の項目はサンプル。導入団体に合わせ調整が必要。	
10	歳出科目情報	予算区分	○	X	1	1	0		
		款	X	2	1	01			
		項	X	2	1	01			
		目	X	2	1	01			
		節	X	2	1	01			
		細節	X	2	1	01			
		細々節	X	3	1	001			
		空白	X	14	1				
		合計	X	2	1	01		※科目情報の項目はサンプル。導入団体に合わせ調整が必要。	
		分	X	2	1	00		24時間	
11	時刻情報	時間	X	2	1	12		24時間	
		分	X	2	1	00		24時間	
12	時間情報	時間	S9	2	1	12		24時間	
		分	S9	2	1	00		24時間	
13	所属情報	所属コード	X	12	1	010203040506			
		所属名	N	30	1				
		部名称	N	30	1				
		室名称	N	30	1				
		課名称	N	30	1				
		係名称	N	30	1				
		特命区分	N	30	1				
		出生区分	N	30	1				
		任命権者区分	N	30	1				

⑫ 項目セット辞書

→ 各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目の型を定義した辞書

コード辞書(共通)						版	作成日
							2007/03/06
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容		
1	有無コード	X	1	0	無		
コード辞書(個人住民税)						版	作成日
							2007/03/06
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容		
1	本人該当区分	X	1	1	老年者控除		
コード辞書(住民基本台帳)						版	作成日
							2007/03/06
項番	項目名	データ型	桁数	コード値	コード値の内容		
1	続柄	X	2	-	※別表1参照		
2	住所区分	X	1	1	転出予定		
				2	転出確定		
3	国保資格区分	X	1	3	学		
				4	遠		
				6	住		
				7	所		
4	退職該当非該当区分	X	1	0	非該当		
				1	該当		
5	退職扶養区分	X	1	1	本人		
				2	扶養		
6	住民基本台帳異動事由	X	2	01	転入		
				02	転入(同一市町村内)		
				03	転居		
				04	転出		
				05	世帯主変更		
				06	世帯合併		
				07	世帯変更		
				08	世帯分離		
				09	出生		
				10	死亡		
11	職権記載						
12	職権消除						
13	職権修正						
14	職権回復						
15	転出取消						
16	補化						
17	国籍取得						
18	国籍喪失						
99	訂正						

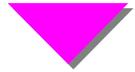
⑬ コード辞書

→ 各業務ユニット間の連携データ項目において、共通的なリファレンスとなるデータ項目のコードを定義した辞書

4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

●ステップ3-①:各業務ユニットの開発・実装に必要な仕様の策定

⑦インタフェース仕様



データ一覧		業務ユニット名 : 住民基本台帳									
NO	情報名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
					CD	コード名	最小	最大			
1	住民情報						1	1			住民基本台帳情報
2	識別番号	○	X	15			1	1		123456789	個人情報を識別する番号
3	世帯番号		X	15			0	1		123456789	世帯情報を識別する番号
4	住民種別		X	1	○	住民種別	1	1			住民・外国人・住在外等の種別を表す
5	住民状態		X	1	○	住民状態	1	1			住民・身登録・転出・死亡等住民の状態を表す
6	住民票コード		X	11			0	1		12345678901	住民基本台帳ネットワークの住民票コード
7	氏名		氏名情報				1	1	○		
8	性別		9	1	○	性別	1	1		1	男女別
9	生年月日		生年月日情報				1	1			
10	続柄		続柄情報				1	1		01	世帯主との続柄を表す
11	住民となった情報						1	1			
12		異動年月日	日付情報				1	1			住民基本台帳上の住民となった日
13		届出年月日	日付情報				1	1			住民基本台帳上の住民となった届出日
14		増異動事由	X	2	○	住民基本台帳 異動事由	0	1		01	転入・出生などを表すコード
15	戸籍情報						1	1			
16		本籍地	住所情報				0	1	○		戸籍上の本籍を表す
17		筆頭者	氏名情報				0	1	○		戸籍上の筆頭者を表す
18	住民でなくなった情報						1	1			
19		異動年月日	日付情報				1	1			住民基本台帳上から除票となった日
20		届出年月日	日付情報				1	1			住民基本台帳上から除票の届出を行った日
21		減異動事由	X	2	○	住民基本台帳 異動事由	1	1		04	転出・死亡などを表すコード
22	前住所情報		住所情報				1	1	○		転入、転居等の異動前住所を表す
23	転出先情報						1	1			
24		転出先住所	住所情報				1	1	○		転出先の住所を表す
25		住所区分	X	1	○	住所区分	1	1		2	予定・確定住所区分
26	世帯主氏名情報		氏名情報				1	1	○		
27	現住所情報		住所情報				1	1	○		
28	住所を定めた情報						1	1			
29		異動年月日	日付情報				1	1			現住所地に住所を定めた日
30		届出年月日	日付情報				1	1			現住所地に住所を定めた届出日
31		異動事由	X	2	○	住民基本台帳 異動事由	1	1		01	転入・出生・転居などを表すコード
32	独自領域		X	50			1	1			自治体個別利用領域
33	異動中区分		X	1	○	異動中区分	1	1		1	異動中・異動中でないを示す
34	異動事由		X	2	○	住民基本台帳 異動事由	1	1		01	転出・死亡などを表すコード
35	異動年月日		日付時間情報				1	1			登録更新した日付時間

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema
  targetNamespace="urn:applic.or.jp:xmlns:schema:2007-01"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:tns="urn:applic.or.jp:xmlns:schema:2007-01">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation/>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexType name="日付情報">
    <xsd:sequence>
      <xsd:element name="年">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="4"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="月">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="2"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="日">
        <xsd:simpleType>
          <xsd:restriction base="xsd:string">
            <xsd:maxLength value="2"/>
          </xsd:restriction>
        </xsd:simpleType>
      </xsd:element>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
```



⑧データ一覧 → 各業務ユニットが所管するデータにおいて、他の業務ユニットへ SOAP連携にて提供するデータを集約したもの

⑩XMLスキーマ → ⑧のデータ一覧にて集約されたデータ項目を XML形式に変換したもの (Page.10)

4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

●ステップ3-②: 各業務ユニットの開発・実装に必要な仕様の策定

⑦ インタフェース仕様

インタフェース一覧		業務ユニット名: 住民基本台帳	
インタフェース番号	入出力	メッセージ定義	WSDL定義
1-1	入力	識別番号	igxm01s-0100.xsd
	出力	個人情報	igxm01s-0100.wsdl
1-2	入力	世帯番号	igxm01s-0100.xsd
	出力	世帯情報	igxm01s-0100.wsdl
	入力		
	出力		

メッセージ定義		メッセージ定義名: 識別番号メッセージ						
NO.	データ項目名	データ型	桁数	エンコード	必須/任意	出力/入力	サンプル値	項目説明
1	識別番号	X	10	CO	必須	I	1234567890	個人情報を検索する番号

メッセージ定義		メッセージ定義名: 個人情報メッセージ						
NO.	データ項目名	データ型	桁数	エンコード	必須/任意	出力/入力	サンプル値	項目説明
1	個人情報	X	10	CO	必須	I	1234567890	個人の個人情報
2	住所情報	X	10	CO	必須	I	1234567890	個人情報を検索する番号
3	世帯番号	X	10	CO	必須	I	1234567890	世帯情報を検索する番号
4	世帯情報	X	10	CO	必須	I	1234567890	世帯情報を検索する番号
5	住民票情報	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票情報を検索する番号
6	住民票情報	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票情報を検索する番号
7	氏名	X	10	CO	必須	I	1234567890	氏名情報を検索する番号
8	性別	X	1	CO	必須	I	1	性別
9	生年月日	X	10	CO	必須	I	1234567890	生年月日
10	婚姻	X	1	CO	必須	I	01	婚姻状況
11	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
12	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
13	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
14	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
15	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
16	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
17	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
18	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
19	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
20	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
21	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
22	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
23	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
24	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
25	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
26	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
27	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
28	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
29	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
30	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
31	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
32	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
33	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
34	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所
35	住民票上の住所	X	10	CO	必須	I	1234567890	住民票上の住所

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions
  targetNamespace="urn:applic.or.jp:xmls:wsdl:2007-01"
  xmlns:boss1-xsd="urn:applic.or.jp:xmls:schema:2007-01"
  xmlns:boss1-wsdl="urn:applic.or.jp:xmls:wsdl:2007-01"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:wsdlsoap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/">
<documentation>
  本文書は、「住民基本台帳ユニット」に関するWSDL定義である。
  管理主体:APPLIC
  対象文書名:boss1_1-2007-01.wsdl
  バージョン:2007-01
  作成日:2007/02/22
</documentation>
<types>
  <xsd:schema targetNamespace="urn:applic.or.jp:xmls:schema:2007-01">
    <xsd:include schemaLocation="http://applic.or.jp/xsd/boss1/boss1-2007-01.xsd"
      xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"/>
  </xsd:schema>
</types>
<message name="住民情報_問合せ">
  <part name="住民情報_問合せメッセージ" element="boss1-xsd:識別番号メッセージ"/>
</message>
<message name="住民情報_検索結果">
  <part name="住民情報_検索結果メッセージ" element="boss1-xsd:個人情報メッセージ"/>
</message>
<message name="世帯情報_問合せ">
  <part name="世帯情報_問合せメッセージ" element="boss1-xsd:世帯番号メッセージ"/>
</message>
<message name="世帯情報_検索結果">
  <part name="世帯情報_検索結果メッセージ" element="boss1-xsd:世帯情報メッセージ"/>
</message>
  
```

⑨ インタフェース一覧 → 各業務ユニット間にて、データ連携するインタフェース (SOAP連携)を定義したもの

⑩ WSDL定義

→ ⑨のインタフェース一覧に従い、WSDLに変換したもの

4. 自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V1.0

(3) 標準仕様⑮「補足事項」について

▶ 本標準仕様V1.0準拠の業務ユニットの開発ベンダ、および調達者(自治体)向けに、必要な情報を補足事項として整理し、ガイドライン的な位置付けとなるもの。

1. 地域情報PF仕様準拠業務ユニットの概要

1.1 業務ユニットの機能対象範囲

1.2 業務ユニットの法制度改正対応状況、および固有の留意事項

2. 業務ユニットの導入に際して

2.1 導入に当たっての前提条件

2.2 法改正への対応の考え方

2.3 業務ユニットにおける標準の考え方

2.4 業務ユニットと統合DBについて

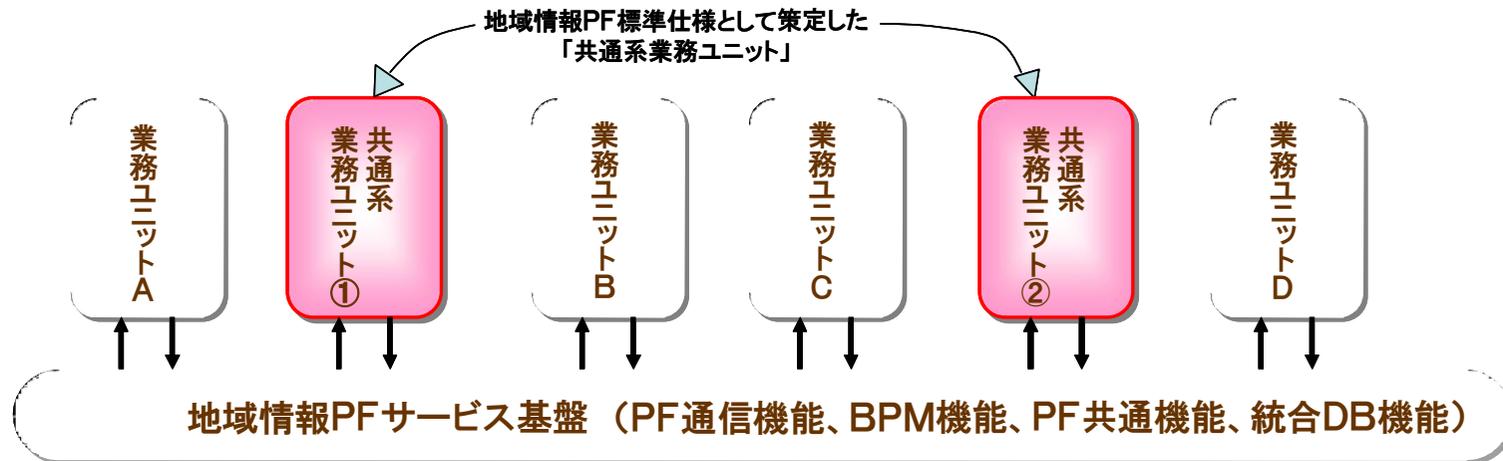
2.5 導入に当たっての検討事項

5. 同標準仕様V2.0策定ポイント(予定)

(1) 共通系業務ユニットの整理とデータ連携の標準化

共通系業務ユニットの定義:

- ① 複数の業務ユニットから共通的に参照されるデータを所管、または共通的に呼び出されるサービスを提供するユニット。
- ② 自治体の調達単位であること。
- ③ 他の業務ユニットとは、**疎な連携**(SOAP連携)を前提。
- ④ 地域情報PF基盤との連携を前提。



共通的な業務ユニットとして切り出す(標準化する)べきかどうか、
その「判断基準」の明確化と「決定プロセス」の透明化が重要！

6. 地域情報プラットフォーム標準仕様(業務モデル標準)とは

▶ 業務ユニットの定義、およびSOAの概念をベースに業務ユニット間のデータ連携・サービス連携仕様を規定したもの

① 業務ユニット間のデータ連携(SOAP連携)の標準化を実現

V1.0

- 業務ユニットの差し替えの容易性を実現
- 特定ベンダの製品や開発環境に依存しないマルチベンダ化
- ITライフサイクルコストの削減

② ワンストップサービス(BPM)連携の標準化(予定)

V2.0

- 時間的・場所的なサービス拡大による住民の利便性向上
- データの二重入力不要等による職員業務の効率化

③ 共通系業務ユニットの整理とデータ連携の標準化(予定)

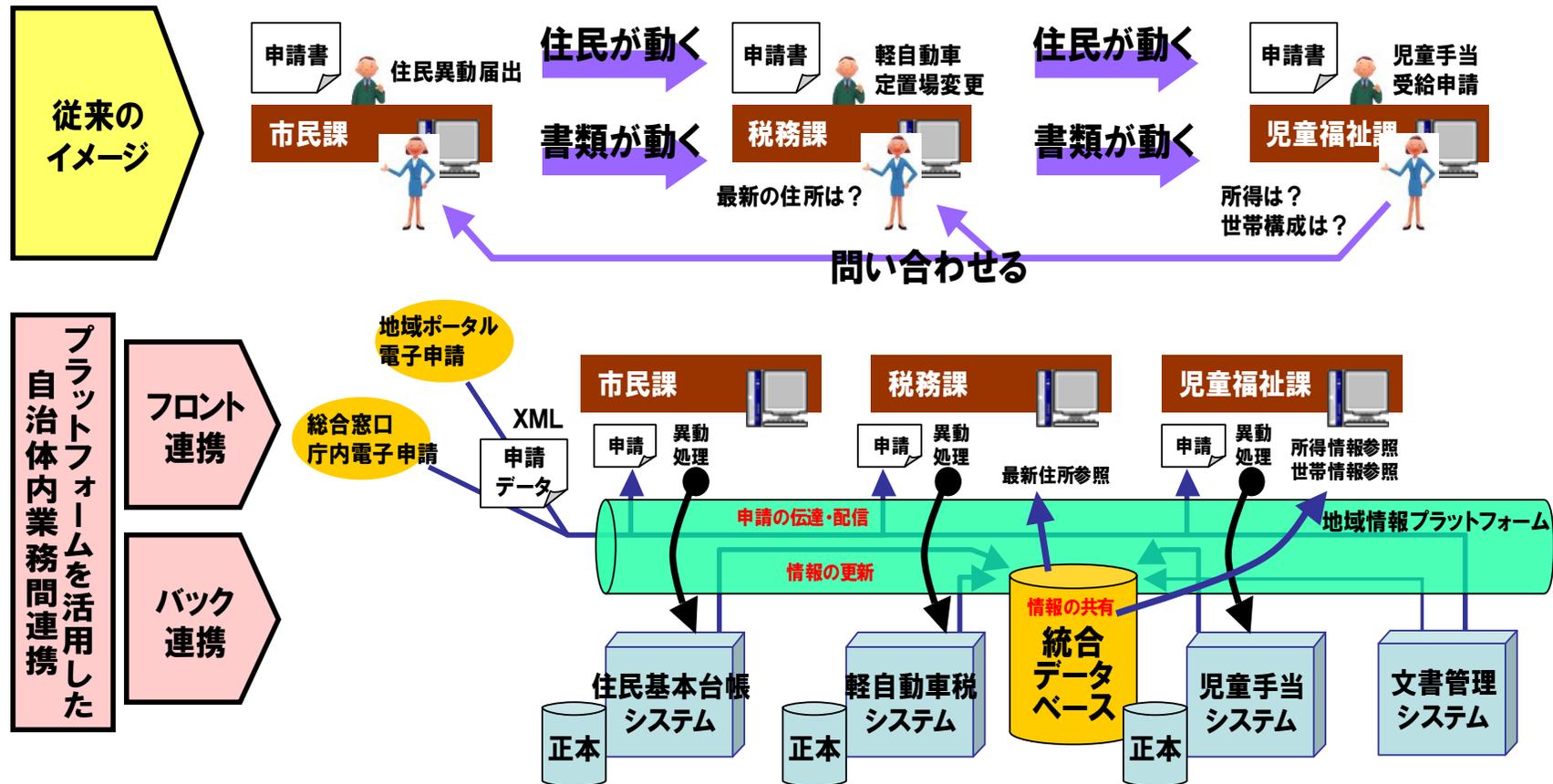
- 自治体業務の改善・効率化

④ 自治体間、官民間の業務サービス連携の標準化(予定)

- 防災、医療、教育サービス等、住民の利便性の更なる向上へ

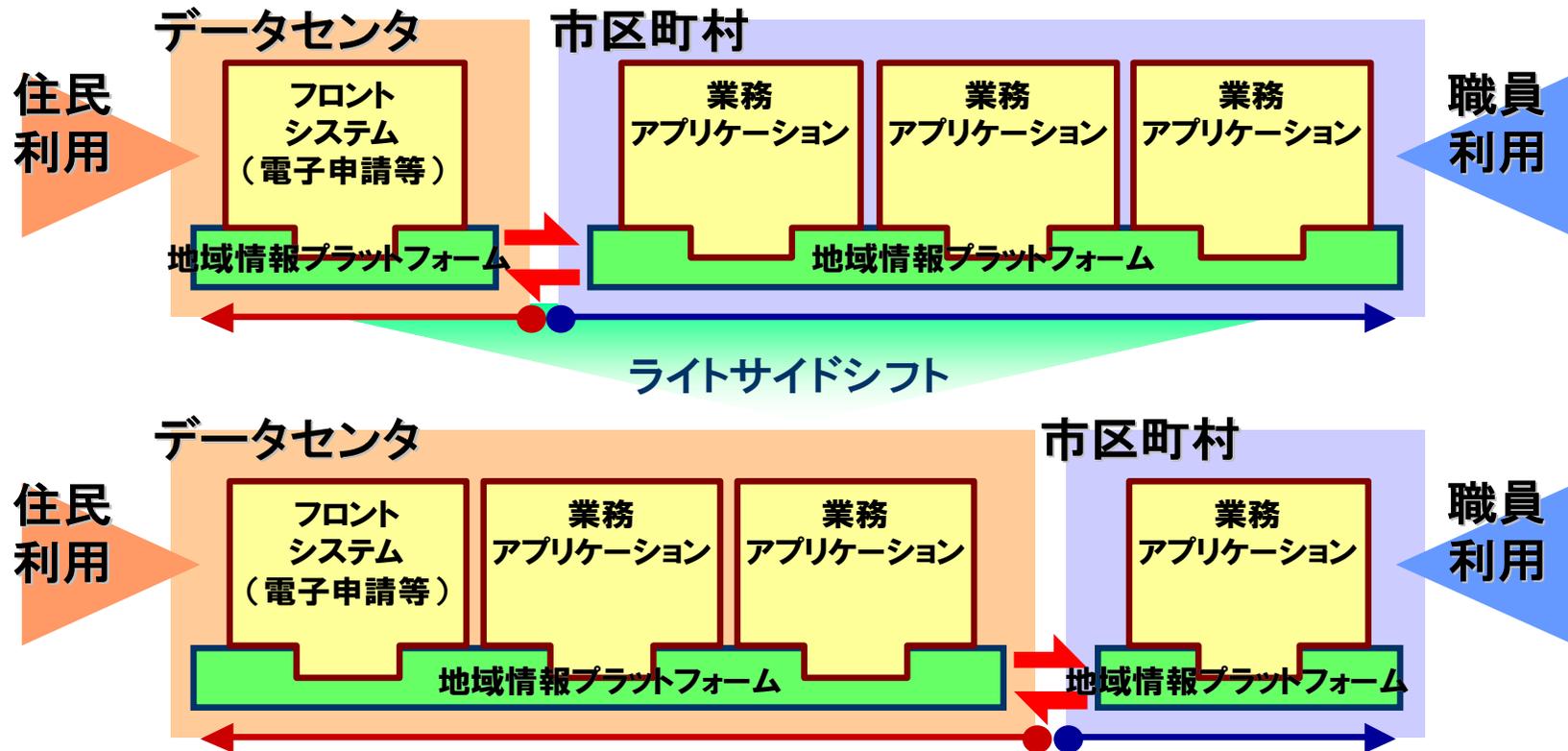
7. 地域情報プラットフォーム標準仕様策定による効果(利活用)

(1) 庁内ワンストップサービスへの利活用



7. 地域情報プラットフォーム標準仕様策定による効果(利活用)

(2) 共同システムとの連携の柔軟性拡大



End